



大倭出版局・大倭紫陽花邑

令和3(2021)年  
10月号  
通巻614号  
毎月23日発行  
(題字 矢追日聖)

★発行日 令和3年10月23日  
★発行所 大倭出版局  
〒631-0042 奈良市大倭町1の12  
☎(0742)45-1192  
★印刷 大倭印刷 監修  
★定価 1部 300円  
年間購読料3,500円(送料共)  
★郵便振替 01050-6-67002  
大倭出版局  
URL <http://www.ohyamato.jp>



大阪府と奈良県にまたがる金剛山の伏見峠登山道にて 2017・10・10 大阪市 金澤秀光さん撮影

昭和36(1961)年9月28日 個人家庭での教導における質疑応答から

## 大倭の宗教談義——本当の宗教とは(下)

法主 矢追日聖 (満49歳)

霊界ではどの宗教でも同じ

【質問…家族全部が入らないと救われないと言う宗教もあります。入っておいたら自分が死んだ後、思い出してくれるかと思ったりもするし……】  
それら家族が揃ってたら、結構ですけどね。

私の場合は大倭教ですが、それ以外の宗教がたくさんありますわね。しかし何々教、何々宗というのは霊界にはあれへんの。人間が勝手にこしらえているだけや。そして政治的な考えで自分の宗教団体を大きくしようと考えたりする場合もあるけれども、霊界には通用しません。今の時代としての看板が必要ですから大倭教という名称は立っていますが、大倭教に入らなければいけないとか、大倭教でなければ修養にならないとか、死んだって良い所へ行けないだとか、そんなことは毛頭、考えていません。

うちの宗教が一番で、他は邪教だというようにして布教する宗教団体もありますけど、霊の世界に行けば全然問題ない、どこの宗教から来てもかまわないんです。けど、牛は牛連れ、馬は馬連れということがあります。自分の修養の度合いによって、霊の世界が振り分けられているのは、いかなる宗教でも同じなんです。どの宗教この宗教でなしに、神さまの道に添った修養をした者が一番良い世界に行くということなんです。それは日本の神道だろうとキリスト教だろうと皆同

じことを言っています。しかし、どういう考え方を教え方が本当に神さまの道に添っているかとなると、霊界に行かなければ分からない。現世では分からないことなんです。

だから大倭教を信仰せよと言いませんよ。大倭教でなくても本当の宗教さえつかんでもらったら、それでいいんです。霊界に行けば、どうせ一緒になりますよ。(笑)

【質問・現世にいる間に修養して魂が向上できて、霊界に行ったら進歩が止まるわけですか？  
そうしたらいつまでも生かして、この上なく向上させたいのに……】

そりゃあね、そんな理屈は人間が考えたって分からない。神さまの心で最初からそのように自然に出来上がってきているんや。

長い話になりますが、死んで、また修養できるような環境に生まれ変わってということは何回か繰り返して、一步一步と向上して理想の人間が出来上がっていくんです。これはまあ自分の見ている範囲の霊界しか分からないんですがね。

【質問・「三つ子の魂百まで」という言葉がありますが、訳の分からんように見える小さい子でも霊というのは大人なんですか？】

そりゃあ大人です。なんぼ赤ん坊でも、何回か生まれ変わって人間界に生まれてくる靈魂は古いですよ。仏教的な言い方になるけれども、因縁因果で、よほど運が良いとも言えます。

## 闘争の歴史が靈魂に宿る

「瓜の蔓に茄子はならぬ」と言いますが、仮に宗教的に鍛え上げ向上していった親に、それに近寄った魂が宿ってくるということが増えてくれば、社会が浄化するわけなんです。だけど現代と

いう時代を考えてごらん下さい。日本の過去の歴史を振り返ってみたら、源平時代から始まって鎌倉時代以降、戦国時代からね、まあ徳川時代には戦争なかったけど、ずっと闘争状態で今日まできているんです。

日本だけではない、世界のどこの国を見たら、今地球の上には、過去において闘争ばかりだった人間が生まれている。因果応報で昔の罪悪が出てくるから、何かこしらえても人殺しに使うというような頭ばかり働く。たとえ原子核を発見したから原子爆弾を作るんや。

その中に少数でも、良い因縁の者も生まれてきているはずなんです。そんな人達が一致団結して真面目な修養をしていけば、堅実な魂の人が生まれて、だんだんと世の中に蔓延していくに従って、罪惡的な靈魂が沈んでいく。いわばお月さんが照っているも、朝、お日さんが出てくれば知らん間にお月さんが消えていくように入れ替わっていくんですね。

今の時代は、まだまだ戦争をやりますよ。そりゃあ口では戦争は残酷だから止めようとか言いますよ。けど生まれてきている人間に、争うことが好きな魂が宿っておるんですから、何かの形でケンカします、まだまだあきません。

だから宗教の目的は、真の平和を祈念して、本当の慈悲の心というもの、言い換えると自分だけでなしに自分も他人も共に幸せになるというような精神状態の人間をつくること。それが神さんの心に添うことだと私は思うんです。

大倭において、そういう人を一人でも多くつくるといえることが社会の力になり、理想とする社会が出来てくる。この仕事の原動力というのが宗教なんです。宗教家がやらなければ誰もできない。宿命的な意味で、私があずかって立っているわけ

です。私一代では何も完結できませんよ。けれども一番先にやりだせば、また誰かが後を継いでやってくれますよ。

しかしこんな話は、何かしら雲をつかむように感じるかもしれません。

## 拜んでも拜んでも敗けた

一般に普通の人は、自分の最も身近な救いを求めて宗教に入っていくんだから、私のように本当の話のすれば、生ぬるい教えだということになるんですよ。

今までの日本の宗教の習慣というものは、「叶わぬ時の神頼み」なんです。病気になる時とか、家がうまくいかない時とか、苦しい時に信仰して救ってもらうことを宗教だと思ってます。ご利益中心の宗教なんです。

これが大きな間違いということは、昭和二十年の終戦の時、神さんははっきり示しているんですよ。あなた達のどこの家だって親兄弟、身内の誰かが戦争に行ってたわね。日本が戦争に勝つように、自分の家から出ている者は無事に凱旋してほしいというような気持ちだったと思います。夜中の二時三時にお宮さんにお百度踏んだような女の人もいたでしょう。上から下まで階級を選ばず皆拜んだものですよ。

拜んだからと言って、結論はどうだったか。敗けているんですよ。戦争の時ほど真剣な祈りはなかったと思う。あんなに私利私欲を抜きにして頭を下げて頼んだ神さんが、何を聞いてくれたかという問題です。

神さんの心というものは、日本人だけやなしに中国人であろうとロシア人であろうと世界人類に向けられているんです。日本は神国だと言う時は

人格神が守ってくれるという意味で、天地自然の神の心の通りに行く国という意味ではないんです。戦争は武力戦なんだから、実力がなければ負けず。スポーツの試合と同じことです。日本が敗けることは敗けるんだけど、結果から見た場合、決して悪くならないということが私には戦争中から分かっていましたよ。

その当時、東京で宗教活動をしていたんですが、昭和十八年の十二月の暮れに神さんを拜んでいた時、日本の上空に真っ黒な飛行機がドンドン来ている相が見えました。神さんが、これは人格神ですよ、「天和に帰れ」とおっしゃるので昭和十九年春に東京を引き上げたんです。引き払う用意をしていた四月に、第一回の空襲がありましたから（※宗教活動の本拠が）丸焼けになりましたけれども、やっぱりあれは実相だったんだなと思いました。

## 神さまの計画は大きい

そういうような天の知らせと言いますかねえ、日本は神さまの国だから勝っても敗けてもいいという結論を私は持っていました。今言うてきたように、昔、戦争で修羅になって死んだ人の魂が生まれ変わって、また戦争を始めてるんだからやむを得ないですよ。

だけれど日本が戦争中に大きな理想としておった大東亜共栄圏や八紘一宇の精神がね、考えてもらんなさい。日本が敗けることによって、中国もインドも朝鮮も独立した。日本が敗けることによって、その理想に近付いた。

神さまの心というのは世界の者が良くなるように考えるんです。この場合、日本が敗けるということが良かった。

その日本でも、終戦後わずか十五、六年経った現在、戦争前より多分、良くなっています。だからここに神さまの心があるんですよ。そりゃあ、敗けた時には私でもがっかりしました、泣きましたよ。けど今見てもらんなさい。車でも衣類でも食料でも、文化設備でも、敗けたお陰ではるかに進歩しています。

もし勝ったとしても、中国にも南方諸島にも軍隊が進駐しとつたら、今、日本の内地に男はおりませんよ。あつちこつちで暴動でも起きたら、日本はジリ貧で自滅しますよ。そういう結論から見た場合、やっぱり人間より神さまの計画の方がはるかに大きいんですよ。今になって、日本は神国なんだと思いますね。

けれども「叶わぬ時の神頼み」が宗教なんだという日本人の長年の習慣があります。欲信心の人が多い。だから私が、考えを根本的に翻さそうとしても、なかなか納得しない。頭がとにかく固い、切り替えられないんですよ。

【質問…この間の台風の時、家がつぶれませんでした。神さまから怒られてるならもうよう分かります。堪忍して下さいと一生懸命拝みました。天のお指図に任す方がいいのでしょうか】  
それは自己満足なんです。拝むことによって自分を力付けているんですね。神さまでなくたっていいんです。

## 法華経と神ながらの道

【質問…死んだ人の供養に朝晩、南無妙法蓮華経を唱えてあげてます。私の自己満足なんです】

妙法というのは、仏教で言う宇宙の法則ということですね。釈迦如来は、甚深微妙の法という言葉で表しておられます。口でも説けない、文字で

も表わせない、妙法と言うしかない不可思議な法則が宇宙に流れていると、経典に書いてある。法華経の中にもあります。仏のように悟った人間になって初めて分かると言うんですよ。

日本的に説明したら大倭の場合は神ながらの道なんです。陽性（ター）と陰性（カー）の二つの気によって一切の物が構成されている、ということは霊界から教えてもらいました。

この妙法の下に、蓮華という言葉が付いてますわね。それは妙法という宇宙の理法を、ひとつの形で表しているんです。蓮というのは花が咲いた時に萼の真ん中に実が付いてるでしょ。花が開けば中に実がついておると、これは結果同時という因縁因果の理法を表わしているんです。

法華経というのは日蓮上人によって始められたものではないんです。中国から伝わって聖徳太子も法華経を講義されてるし、聖武天皇は全国に国分寺・国分尼寺を作って法華経を誦読させましたし、伝教大師（最澄）も法華経の教えを広められました。

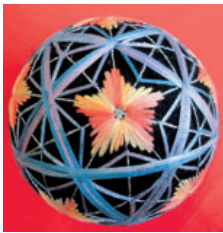
それはね、法華経の内容が日本人の古来から持つておった神ながらの道と相一致する面が多かったです。それで仏教というものが日本に広まったんです。全然、相いれないものだったらめったに広まりませんよ。

日本の神道というものは、全て形で教えてきたんです。そこへ仏教が哲学的に知識でもって説明したから、日本人の心に沁み込んでいった。それが今、仏教だ神道だと二つのようになってきてますが。

そういう法華経ですが、南無妙法蓮華経でなければいけないんだというような、色の染まったお題目だったらいけませんよ。（雑談多くなり不明瞭で、録音も終了） 文責・編集部

### てまり教室

▶桜  
講師：溝口ツヤ子



フシグロセンノウ  
節黒仙翁  
波多野鎮子

### 押絵教室



▲鶴 沢口一子

▼つた 林 佳栄



▼湖白鳥 飯塚ひろ子



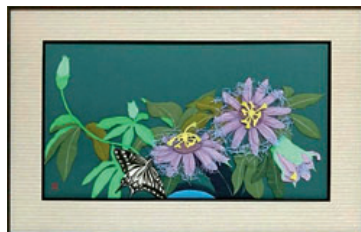
▲水芭蕉 芳林純子



▼竹馬 中島佐栄子



▼時計草 小野輝子



▶竹林七研 講師：高濱峰順



紙上作品展

— 大倭会館で継続中のサークル活動より

敬称略

### 着物リフォーム教室



▼紬のジャケット  
山崎波留茂



▼紬のアンサンブル  
藤林峯子

▶黒留袖のコート  
講師・波多野鎮子  
◀色留袖のワンピース

▼色無地のワンピース  
小田美穂子



▼紬のロングベスト  
芳林純子



▶花組かごめ  
藤林峯子



▶矢がすり  
西野百代



▶一枚笹  
小田美穂子



▶巻き鶴  
波多野鎮子

▼一越ちりめんの三角袖コート  
西野百代



▼大島紬のコート  
溝口ツヤ子



### 真向法教室

講師：石川君子



換気と「密」に注意して

## 新こころとからだシリーズ (19)

## 「乙女美肌室」

メールマガジンより抜粋

東京都 高橋理砂

色々な治療の仕事に携わっていて、大倭にご縁がある方が多いことに気が付き、「新こころとからだシリーズ」を始め、平成27年まで18回を数えました。記憶でしょうか。今回は久しぶりです。

ビューティセラピスト  
ロン「乙女美肌室」の高橋さんは今年3月号で、見田暎子さんの追悼文集に感想を寄せて下さいました。  
(編集部)

## 【トラブル多発部位は曖昧な箇所】

耳の前側で、もみあげの耳側。

耳の上と髪の間。

耳の後ろと髪の間。

耳たぶと首と顎骨のあわい。

右記を、顔として洗っているでしょうか、それともシャンプーするとき触る箇所でしょうか。

同じようなことはほかにもあります。

首のサイドから肩先にかけて。

首の後ろの生え際から背中にかけて。

右記はからだとして洗うのでしょうか、それとも顔として洗うのでしょうか。

線引きの曖昧なエリアは、どちらに帰属させて管理するか、どう管理するかが曖昧です。こうした場合の肌は洗っても保湿も行き届かないために荒れやすく、首ならば、なぜかしわがいつまでもな

くならないといったおまけも、しばしばつきま

曖昧なエリアをなくすことから、始めてみませんか。

なお、耳まわりが荒れやすい方が、不衛生なメガネをかけていると、さらに荒れます。メガネはレンズ面や鼻あてを拭くだけでなく、つるも全体を毎回きれいに拭く必要があるのです。

## 【少なめ、小さめ】

荷物がいつも多い。そんなときは、バッグが、持たたい荷物に対して小さいのかもしれない。が、その「持たたい荷物」は本当に持ち歩かなくてはならないものだけで構成されているのかを、最初に検討する必要があります。

また、感染状況のよくない中を持ち歩くバッグですから、毎回除菌シートで拭き上げたり、洗ったりできるものであること、地面や床に置かない習慣を身につけることが、時勢的に求められます。

日常的に持ち歩くバッグは、夢や願望ではなく、現実的なものを最小限入れて、なおかつ出かける時点で5割までの容量に留めることをおすすめします。それは、荷物が少々増えても対応できたり、からだを傷める負担にしないためにすぎません。開くかわからない本を数冊持ち運ぶのは、「読みたかったのに今日も読めなかった」と不達成感を招き、自身に対する焦りを生むことにつながるかもしれません。ならば別に、重たい思いをして持ち歩かなくなつていいじゃありませんか。

バッグはファッションの一部でもあります。そ

して、形状によっては、からだに負担をかけやすいこともあります。気持ちやからだに無理を強いることなく、ファッションとしての機能も両立させて、衛生的に同行してもらいたいものです。

## 【タイミングを逃さないよここ】

何事にも適した時というものがありませんが、機を逃すとボタンをだんだんにかけ違うようになり、現状と認識がずれていきます。

スキンケアやボディケアで言うと、「はい今！今リカバリーに注力ね！」というときに「つい買いそびれちゃった…」「なんかしみるかなって心配して自己判断でやめちゃった」「まだいいかと思つて…」「もういいかなって思つて…」などにより、まるっと機会を逃して、結果、ダメージを順調に育ててしまう方は時々おられます。

何でも同じですけど、問題は先送りすると、さらに大きめで現れてきますよね。本当ならそのときそのときやる必要があるはずなのに、やることをやる前にやらないといけない未処理案件があると、なかなか旬の手立てをできず、また積み残しを先に送る、という悪循環になります。

スキンケアやボディケアはさまざまなことの中の一角であり、悪循環はその方の生活全体に今のところ存在するのだと考えるほうが自然。悪循環みたいなのがある毎日は、どこかちょっと気がかりがあり続けて、快適性や気楽さに欠けてませんか？

小さな心配や小さな気ばかりも、ストレスになります。できることから、快適性や気楽さを取り戻しませんか。

紫陽花邑の底流

## 青山日元さんの日記より

先日のこと、平成28(2016)年1月25日に101歳6カ月で帰幽された日元さんの、長年の日記13冊を目にする機会がありました。当時の邑の雰囲気を感じさせられ、今回、その最初の部分を掲載させて頂くことにします。かな遣いや旧漢字は現代風にしました。(編集部)

昭和43(1968)年元日 ※日元さん満53歳  
新玉の年の始めを寿ぎ奉り、往く年来る年感無量。除夜の太鼓、謹しみて屠蘇を祝い、拜殿へ並川・木村さん等すでに御詣り。

二時、法主様御来賀、家の子一同参拝。法主様訓示、「今年の霊界の動き宜しからず、何かれに付け今年は尚一層心して(神の)御心に添い奉るように行動せよ」と。

続いて一同車にて神宮へ参拝。祭典後、奇稲田媛命御前に引き寄せられ、鳥居にすがり咽び泣く。今年一年、至らぬ乍ら否定し続けてきた二十年の歴史、此処に結実される事と信ず。是れ吾が意志にあらず!!

元日参拝者、川端母子四人、稲田・水本さん、森下会長さん共に瑞光院へ。

1月2日

(毎日) 新聞社説の切り抜きが貼ってあるだけ。「日本はどこへゆくべきか」「明治百年を迎えて」「初心にかえれ」「創造の世紀へ」などの見出し。

1月3日

十二時頃、六甲(の親戚の)柳実父娘、年始に

来てくれた。三時頃、道ちゃんが拜殿に花園(の)北原さん母娘御参拝と知らせてくれ拜殿へ。瑞光院に上れば布施(の)今井さん年始。又、問題の影山、おじさんと来て居った。誰かが言う「影山一人の救済は、他の(ハンセン病)患者数千人にも値する」とかの問題のご本人か。どうやら今後一門の一員として大倭に入るらしい!! 法主様、命とは申せ、小さく個人から始まるの救済は、実には大きなお仕事だと思ふ。かりに影山一人の場合でも厚生(省)関係がどうにも

ようしないのだ。  
影山君よ、真に霊肉共に救われるところは、此処大倭をおいて他にない事を知れ!!  
夜、瑞光院に上り、新聞の社説を見て戴く。

1月4日

拜殿お給仕。正月も早四日、今日も暖かい小春日和だが、外は厳しいらしい。相変わらず交通事故が続いている。

昼食後、拜殿にて『すさのお』書写せり。  
夕方、ブロック(工場)に登る。朝から家をトントンと何か大工仕事をやっているようだったのだ。(ハンセン病回復者で大倭一門の)渦居さんと丸さんが、以前渦居さんが寝ていた部屋を改良していた。影山は一人で洗濯をしていた。

平谷さん、瑞光院に来ておられる様子だ。  
夜、年賀はがき返事を書く。

1月5日

拜殿お給仕。

年末から年始、(娘の)波留茂は実によくやってくれた。年頃から言えはまだまだ遊びたいことだろう。口では強く言っているのだが、将来に於て又、気が付いてくれる事を信ず。

正月三ヶ日もゆっくりする間もなかった。今日は、いまだ一度も日元生家へも行った事もないで、(息子の)法義・(娘の)安不比を連れ三人、奈良より汽車にて柏原太平寺(の)おばあちゃんの家へ。外へ行った事もなく唯、略図だけを書いてそれをたよりに。

瑞光院に上ればカー様から「昨夜、久子ばあちゃんが日元・隆臣等に世話になったと盛んに言うてるから一度行ってやれ」と承る。早速、訪ねてみる。日頃、大分弱っていると聞いていたが、成程弱ったな……。 (法主の叔父で夫の)政一おじさんの命日も近いらしい!! 又、子供達にと久子おばあちゃんよりお年玉頂く!!

六時頃、金山さん妻子、感冒の為、後れながら年始挨拶にと来てくれた。出違いに波留茂等帰宅する。

1月6日

拜殿お給仕。

今日六日は神ながら、私が大倭に入門させて戴いた日に当る。昭和二十二年正月六日、その日が私個人再生の日ではなかっただろうか。人には転生という事があるらしいが、私には生きながら性を変えて大倭に還らして戴いた日であった。

今日は今年初めての月詣り……心に当る。元日に法主様より「今年には決して霊界の動きは穏やかでない」と訓示してくださっていたので、外出に当り何か事故がなければと注意して行ったのだが、矢張り思わぬ事故に直面した。小泉(の)一浦さんへお詣り中、道端に止めておいた車がひとりでにバックして余所さんの家に当りレンジコウシを打破ってしまった。尚又、その矢先には対向の車に接触。ああ、これが虫の知らせだったのだろうか。奈母太加天腹、拍手、合掌。

# あじさい日誌

9月12日 午後、考古学者の西山要一さん夫妻が瑞光院に保管されている法主さんの考古学遺物を見に来られました。岸田哲・高橋良美・李章根・杉本順一夫婦も同席しました。

9月15日 大倭神宮月次祭。

9月20日 三重県志摩市の一般財団法人「母なる愛やまとのこころ」・やまと舞・やまと神楽の代表者やまとふみこさん一行20名が大本宮拜殿でご挨拶の後、大倭神宮に参拝されました。

9月23日 大倭大本宮月次祭。

この日お聞きしたのは昭和41年9月23日の月次祭法話。令和2年9月号『とおやまと』に「幸せはどこにあるのかー本当の意味で自分を愛するとはー」として掲載分です。

9月29日 昨日まで競っていたつくつく法師、ミンミン蟬が揃って声の掛け合いをやめました。それぞれに恋人ができたのでしょうか。

10月2日 午後6時から大倭会館で大倭町自治会役員会議。

10月6日 大倭神宮月次祭。

朝から藤本宏秋さん(京都市宮津市)に「つれて来られた」という在日31年の陶芸家、トレスィー・グラスというカナダ人女性が来邑、大倭神宮へも。夜、大倭会館で邑倭の会。

## 大倭安宿苑では

(菅原園)

9月18日 音楽療法。4名定員の小グループでセッション。(須加宮寮)

9月24日 新型コロナウイルスワクチン接種(一回目)。

9月27日 昼食時、お祭りの飾り付けと音楽で、やきそば・たこやき・ウインナーで屋台風に。(長曾根寮)

9月20日(デイ) 敬老の日のお祝い膳と個々に心を込めて書いた色紙をプレゼントしました。

9月21日(特養) 人数をしばって喫茶倶楽部あじさい開催。童謡で大きな声を出しました。(茂毛路園)

9月16日 合同防災避難訓練に参加。密を避け安全にと。(八重垣園)

9月20日 敬老の日。昼食は松花堂弁当とケーキでした。

## あんない

\*月次祭(大倭神宮) 11月6日(土) 午後2時より大倭神宮にて。

\*大倭会主催祝会 11月14日(日) 中止とします。

\*月次祭(大倭神宮) 11月15日(月) 午後2時より大倭神宮にて。

\*月次祭(大倭大本宮) 11月23日(祝) 午後2時より大倭大本宮拜殿にて。

## 大倭会通信

懐かしい人、懐かしい処 岡山県 湯浅芳郎

大倭会文化行事は、昭和44年「龍田を歩く」に始まり、柴地則之さんが世話役をされていたが、昭和62年の180回「若草伽藍跡から中宮寺へ」から後を頼むと託され、令和元年の343回「高麗美術館と上賀茂神社」までお世話させていただいた。その記録は矢追房子さんと野保夫さんのご努力で3冊目までは小冊子になっているが、引き続き4冊目も作りたいと思っている。また、ご協力をよろしく。

特に印象深いのは、平成29年の広島方面におけるシュモールハウス、平成30年の鳥取方面における野の花診療所の徳永進先生を訪ねたことである。

5月24日山陽新聞・検証コロナ時代に金原ひとみ氏の「理解できない他者(＝新型コロナウイルス)」と生きてゆく難しさに直面したことは、人類にとって財産になるのではないのでしょうか」の指摘があった。そのことを考えないとこの時代に生きていく意味がない。俳句を詠んで暮らしている近況だが、芸芸として時代をしつかりと記録していく切り結び方ができるのか。

\* 未っ子はいつも呼びすて葱坊主 (岡山県知事賞受賞)

## こたまとこたまと

▼大阪府大東市 坂田洋美

法主さんに初めて出会った時のことを、ふと聞いてもらいたい伝えたいと思って書きます。三十一年前、幼い三人の子を残して妹が亡くなった時、私はくやしくて悲しくて、泣きやむことができないくらい泣きました。(一番下の子は三歳だった)が、その子が今はお母さんになったのですよ。

その後まもなく、石垣雅設さんが法主さんに出会わせて下さったのです。お会いしたいと願っていた私は、ごく自然に霊界の妹を見て下さるお姿をながめ、そういう世界があるんだと素直にうなずくことができました。慰霊し、大丈夫だよと伝えて下さって、素直に初めてそういう世界を受け止めることができました私がいま。

大倭に行く度に、法主さんはなつかしい人となって、帰幽された時は親が亡くなったような感覚でしゃっくりをあげ泣いたものです。

その後、見えない世界が分かるという人と次々と出会いましたよ。何百年後に南米に生まれ変わるとか、あなたとは乙女座のあたりで出会っているとか、亡くなった愛犬の元気でいる姿を伝えてくれる人がいたり…。文化行事の旅行で、大三島の

大山祇神社に行った時、木の好きな私は、法主さんが枯れた古木を慰霊されていたお姿をよく思い出します。

私は今、圧迫骨折五本の身体で、二本の杖でようやく歩けるという状態ですが、この頃、近所の素盞鳴神社のイチヨウ、雌雄各二本の古木達のことが気になっていました。神社裏の川がなくなり、水脈を切られみな弱ってきました。お互い相憐れみつつのお参りです。

樹齢七百年という一番の雄木は、地面から5m位のところで切られシメ縄をされています。雌木はあちこち枝を切られながらもギンナンを落とすつづけていますので、時々拾って焼いていたいただきます。

切られてしまったイチヨウの雄木にまつわる思い出です。毎年、今井でつさんに来てもらって私の家で音楽会をしていたのですが、イチヨウの木が弱ってきて悲しいと伝えると翌朝、一緒に神社に行ってくれました。

そして、その木の前でキーボードをひいてくれたのです。すると何と、むき出しになった木肌をいたわるように蝶が集まってきて、音楽に合わせて舞ったのですよ。鳥もさえずって、本当にふしぎな場面でした。次の日は大倭に行ったものです。こんな木とも霊界で会えるのでしょうか。